

## 議会報告会報告書

開催日時	平成28年10月22日（土）午後5時30分 終了：午後6時42分	
開催場所	林公民館多目的ホール	
対象団体	林地区（林地区町会長協議会）	
参加人数	61人	
班構成	C班	安実 隆直、永井 徹史、宮岸 美苗、清水 芳文 前多 喜良、西川 寿夫、中西 恵造
役割分担	リーダー：前多、司会：宮岸 報告：当初予算－西川、主な事業（総務）－清水、（文福）－永井 （産建）－安実	

(質疑応答)

**(質問1)**

平成28年度の当初予算について、歳入の使用料・手数料が平成27年度に対し、8割ほどふえているが、それほど変わるものなのか。

**(答 弁)**

平成28年度は財政調整基金の繰り入れ分が計上されたためである。

**(質問2)**

歳入について、平成28年度の市税と地方交付税の合計は269億円で平成27年度と比較して約10億円下がっているが、その要因は。また、市民税や固定資産税はふえているのか。

**(答 弁)**

地方交付税については、合併してから10年間は特例措置があったが、11年目からは段階的に5年間で約41億円削減される予定になっており、歳出はしっかりと考えなければならない。また、市税については景気等により増加して170億円ほどになっているが、市税がふえた分の75%の地方交付税がカットされることになる。

**(質問3)**

防犯カメラの設置について、今年度は6カ所の地下道に設置していくということだったが、市内には地下道が何カ所あるのか。また、防犯カメラを全部設置するには、何年かかるのか。市として通学路が安全かどうか調査しているのか。

**(答 弁)**

市内の地下道とそのうちの通学路の数については把握していないので、調査してお知らせしたい。また、PTAなどから防犯カメラの設置に関する要望は15カ所あり、今年度は要望が強かった地下道6カ所に設置し、残りは来年度以降に設置したいとのことだった。通学路の安全点検は、教育委員会を中心に実施している。なお、議会でも特別委員会を設けて、一部カラー舗装などの対策を講じたが、それ以降も危険箇所は発見されるので、5月から6月に学校関係者や地域の交通安全協会、警察等で通学路の安全点検を行い、市に改善を要望できるルールが運用されている。

**(質問4)**

生涯学習の充実について、公民館の建設だけでなく、ソフト面の充実が非常に大事かと思うが、どのように考えているのか。

**(答 弁)**

公民館をいかに利活用するかが大事で、文化・生涯学習を企画して多くの地域住民に参加していただきたい。なお、議会では文教福祉常任委員会と公民館連合会との意見交換会を毎年実施しており、公民館運営の改善に向けて取り組んでいきたい。

**(質問5)**

各公民館の使用率について、市民がわかるようにしてほしい。

**(答 弁)**

公民館だけでなく、公共施設全般の稼働率が問題になっている。個々の施設ごとに台帳は提出されており、今後の建てかえ等の計画を策定する際に、稼働率は検討材料の一つになっているが、利用促進という意味でのデータではない。大切な提言だと思うので、提示できないか検討したい。

**(質問6)**

白山市を何かで日本一にしていけるよう、特色あるまちづくりを考えてほしい。

**(答 弁)**

各地域でも特色ある事業を実施しているが、皆さんからも提言してほしい。

**(質問7)**

白山市には防災士は何名いるのか。町内会として、防災士にどのような役割を持たせるべきなのか。

**(答 弁)**

防災士は平成27年度末で279名おり、今年度は12月に講習会があり、33名の申し込みがあった。市としては町内会に1人以上の配置を目指している。なお、自主防災組織は92%の町内会で設置している。役割としては、地域の防災・防火訓練や避難所の運営、備蓄品の準備など、専門的に講習を受けた防災士がアドバイスすることで充実したものになると思われる。

備 考